

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0270301336
法人名	医療法人すみれ会
事業所名	グループホーム舟見町
所在地 (電話番号)	〒031-0801 青森県八戸市江陽5丁目7-24 (電話) 0178-73-5725

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年11月12日	評価確定日	平成22年1月8日

【情報提供票より】(平成 21年 10月 20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 1月 15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.6人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	10,000 円	
敷金	有( ) 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,000 円				

### (4) 利用者の概要( 10月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 79 歳	最低	69 歳	最高	85 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	美保野病院(歯科含む)、きむらクリニック、岸原病院
---------	---------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームは住宅地の中に立地しており、近くには大型スーパーや小学校がありにぎやかでありながらも暮らしやすい環境である。地域との繋がりが強く感じられ、協力体制も確立されている。又、毎年度の全体目標と個別目標を掲げ、利用者が地域の中で安心して快く生活ができるように日々取り組まれている。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題については運営推進会議等で全員の意見を踏まえ、前向きに検討し向上に繋げている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>外部評価の結果を踏まえ、全員で意見を出し合い検討しながら改善に向けて取り組まれている。自己評価の実施についても職員の意識を合わせ、ケアを振り返りながら取り組まれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に1回開催されている。外部評価の結果を踏まえ、全員で意見を出し合い、検討しながら改善に向けて取り組まれている。自己評価の実施についても職員の意識を合わせ、ケアを振り返りながら取り組まれている。また、市役所との協働関係が保たれており様々な相談にのって頂いている。現在は困難事例を抱えているため相談していく予定となっている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>積極的に声をかけ、意見のすい上げの為、食事会を設ける等で雰囲気作りを行っている。毎月の金銭報告や便りと一緒にホームでの様子を伝えるようにしている他、面会時には必ず声をかけ、暮らしぶりや健康面について記録を見て頂きながら報告し、今後の方向性についての話し合いを行っている。心身の状態に変化や問題が起きた時には随時報告している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町内会に加入し、ゴミ拾いや地域行事への参加、ホームの行事への参加を通し地元の人達との交流が図られている。非常時の協力体制作りも出来ている。近くには小学校があり、子供たちとは日常的に挨拶を交わしている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で安心した生活を送れるように、ホーム独自の理念を掲げ実践されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	月1回のミーティングでの課題として、自分達のケアを振り返りながら、日々のケアに活かしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会に加入し、ゴミ拾いや地域行事への参加、ホームの行事への参加を通し地元の人達との交流が図られている。非常時の協力体制作りも出来ている。近くには小学校があり、子供たちとは日常的に挨拶を交わしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価の結果を踏まえ、全員で意見を出し合い検討しながら改善に向けて取り組まれている。自己評価の実施についても職員の意識を合わせ、ケアを振り返りながら取り組まれている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヵ月に1回行っており、ホームの現状や評価の結果を伝え、改善に向けた話し合いを行っている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所との協働関係が保たれており様々な相談にのって頂いている。現在は困難事例を抱えており、相談していく予定となっている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度の理解を図るために、資料を基に勉強会を行っている。必要時の支援についても市役所と協同で行っている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会を通して理解の浸透が図られている。職員間でも不適切な言動やケアをしていないか確認し合いながら取り組まれている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>個々に合わせ、納得が得られるようにホームの取り組みや考え方等十分な説明を行い契約している。その後も、不明な点があった時には、その都度対応している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の金銭報告や便りと一緒にホームでの様子を伝えるようにしている。また、面会時には必ず声をかけ、暮らしぶりや健康面について記録を見て頂きながら報告し、今後の方向性についての話し合いを行っている。心身の状態に変化や問題が起きた時には随時報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>積極的に声をかけ、意見のすい上げを行っている。意見や要望を出しやすいように、食事会を設ける等で雰囲気作りも行っている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職はあるが、不安を招かないように配慮している。やむを得ない場合に備えて応援体制も作られている。新任職員については研修会や他の職員がサポートしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員個々の年間の目標を掲げ、レベルアップを目的に取り組んでいるが、フォローアップする外部研修への参加ができていない。		外部・内部研修は職員の質の向上に繋がるため、年間計画の中で研修を位置づけていく運営面での工夫が必要である。また、職員個々の段階的なフォローアップする研修体制への取り組みを期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡協議会に加盟し、交流や連携のきっかけ作りをしている。また、近隣のグループホームと交流する機会を通して、質の向上に励んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族の協力を得ながら、環境変化とならないよう、馴染みの物を持ってきて頂き、安心感を持って利用してもらえるような対応を実施している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する、される側の意識を持たず、日々の生活でコミュニケーションをとりながら、和やかに生活できるような場面作りをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメント表(センター方式)を使用して、本人の思いや意向を確認できるように努めている。また、日々の関わりの中で声掛けし、言葉や表情、行動の真意を推し測り、生活の支援を行っている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者が自分らしく暮らせるように、本人や家族の意向が盛り込まれており、日々の生活記録を重視し、評価・介護計画の作成に活かしている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員が情報を確認し、利用者の状態変化や状況、本人・家族の要望に応じて見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じて、暮らしの継続に必要な外出支援や通院支援などに柔軟に対応し、個々の満足度を高める努力をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。また、受診や通院は基本的には家族となっているが、職員が付き添いするなど柔軟に対応している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	個々のニーズに合わせ、医師、家族と相談し方針を決め、スタッフで共有している。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	会議時に職員へ意識付けさせ、日々の関わりにおいても職員間で振り返り、利用者の尊厳、個人情報の保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課に縛られることなく、個々の体調や希望、気持ちを重視し臨機応変に個別支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者の状態に応じ、調理、盛りつけ、片付け、茶碗拭きを共に行い、職員と利用者が和やかな雰囲気であり、さりげない声掛けやサポートをしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は週4日間、午前・午後と設けており、入居者の状態と希望を聞き入れている。また、入浴を通し利用者と職員がコミュニケーションを図り入浴を楽しめる支援がされている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>一人一人が何らかの役割を持って意図的に活動できるように声掛けや得意分野を広げて、張り合いや喜びのある生活への配慮がなされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>個々のニーズに応じて、心身の活性につながるよう、日常的に買い物やドライブ等に出かけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用者が抱えるリスクに対し、正しい知識を持ち、日々の関わりに関しても、スタッフ間で振り返り、身体拘束をしないケアに努めている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施錠はされておらず、利用者の所在確認ができるようにスタッフ間で意識付けがなされている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、実践的な自主訓練に取り組んでいる。また、地域住民の協力も得られるよう、取り組みがなされている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の状態に合わせて、色々な食事形態で摂取できるように工夫がされている。また、個々の食事摂取状況が把握できている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成し予防対策をしている。また、手洗いうがいをし、感染予防に努め、消毒方法も徹底されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を刺激する環境を意図的に取り入れると共に、利用者にとって使いやすく馴染みのある物を設けている。また、ソファを置き、くつろげるスペースを作り、居心地の良い空間作りをしている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を持ち込んで頂けるよう、ご家族への説明もできており、本人の馴染みの物も持ち込まれており、その人らしい個性が感じられる居室となっている。</p>		

 は、重点項目。